

ペプチサル ユーザーの声

肺癌ターミナルの多発性口内炎がペプチサルで縮小快方へ

桑名病院 看護部

歯科衛生士 近藤舞子さん（新潟県新潟市）

当院は脳神経外科主体の病院で歯科はありませんが、歯科衛生士1名が活動しています。多発性肺癌骨転移・転移性脳腫瘍で、緩和医療目的のため当院外科に転院されてきた患者様の症例を紹介します。

転院されてきた当初は口腔内にトラブルはありませんでしたが、間もなくして口腔内全体に口内炎が多発し強い疼痛を伴うようになり、歯科衛生士が介入しました。

ペプチサルジェントルマウスウォッシュでの含嗽のセルフケアの他、毎食後の口腔ケアでペプチサルジェントルマウスウォッシュとジェントルマウスジェルをスポンジブラシで混ぜて口腔内全体に塗布しました。同時に栄養補給、口内炎の治療促進のため、微量元素を含むゼリーを1日1個摂取していただきました。

極力、粘膜への摩擦による負担を軽減するため義歯は着けずに食べることでできる食形態に下げ、水分摂取や含嗽の際は、ストローを使用し、口唇粘膜患部への直接接触の面積を狭めるなど工夫しました。

2週間後には口内炎は快方に向かい、「もうしみなくなっただよ。」の声を聞いた時に安堵したことを覚えています。

その後、口腔ケアによるQOL改善の甲斐なくお亡くなりになりましたが、最後に言っていた言葉「また来て。」が心から有難く仕事を続ける上で励みになっています。



近藤 舞子 さん
(コトウ マイコ)

- ・日本歯科大学
新潟短期大学卒業
- ・桑名病院歯科に就職

その後、歯周病専門医での勤務や、新潟臨港病院歯科口腔外科での勤務を経て、現在、社会医療法人桑名恵風会桑名病院でNSTにおける活動や口腔ケアを行っている。

介入初日



2週間後

